

# ほけんだより

2019.7.5 No.3  
鹿嶋市立中野西小学校  
養護教諭

## 手足口病の流行警報発令！

手足口病が全国的に猛威を振るっています。

7月4日に茨城県でも流行警報が発令されました。

手足口病は、毎年夏に、主に5歳以下の乳幼児を中心に流行します。

まれに小中学生や高齢者、抵抗力の落ちた大人でも感染することがあります。

今後さらに患者数が増える可能性があるため注意が必要です。



## 手足口病ってどんな病気？

病原体：エンテロウィルス

感染経路：飛沫感染（咳やくしゃみなどで飛ぶ唾液による感染）

接触感染（感染者と接触することによる感染）

糞口感染（感染者の便に排泄されたウィルスが口に入ることによる感染）

主な症状：○ 感染すると3～5日後に、手のひらや足の裏、口の中に水疱性の発疹が出ます。

○ 熱が出ることもありますが、高熱が続くことは通常ありません。

○ 基本的には軽い症状の病気ですが、まれに、髄膜炎等の合併症が起こることがあるので経過観察をしっかりと行い、高熱や頭痛、嘔吐等の症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診してください。

予防方法：○ 手洗いは、流水と石けんで十分に行ってください。

○ タオルの共用は避けてください。

○ 快復後も2～4週間にわたって糞便にウィルスが排泄され続けるためトイレやおむつ交換の際などには、しっかりと手洗いをしてください。



医師に「手足口病」と診断された場合は**出席停止**となりますので、必ず学校へご連絡ください。出席停止期間は「**医師が、感染のおそれがないと認めるまで**」ですので、受診の際にご確認ください。

鹿嶋市内の保育園でも7名の感染が報告されています。（7月5日10時現在）。

本校でも、休み時間や給食の前に、手洗いの徹底を呼びかけています。石けんでしっかりと手を洗えるように、順次、流しの石けんを“泡で出るポンプタイプ”に交換しています。また、養護教諭がトイレを見回る回数を増やし、流し忘れや汚れのチェックをしています。

ご家庭でも、うがい・手洗いの徹底と、規則正しい生活習慣に気をつけて過ごせるよう、ご指導ください。

